

平成27年度指定管理者評価結果票

所 管 課	健康福祉部 障害福祉課
評価対象期間	H27.4.1 ~ H28.3.31

1 基本情報

施設概要	名 称	岐阜県聴覚障害者情報センター
	所在地	岐阜県岐阜市藪田南5丁目14番53号 岐阜県県民ふれあい会館(ふれあい福寿会館)第1棟6階
指定管理者	名 称	一般社団法人岐阜県聴覚障害者協会
	構 成 員	—
	所在地	岐阜県岐阜市藪田南5丁目14番53号 岐阜県県民ふれあい会館(ふれあい福寿会館)第1棟6階
	指定期間	H24.4.1 ~ H29.3.31
指定管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設及び設備の維持管理業務 ・ 字幕・手話入りビデオの制作及び貸出業務 ・ 手話通訳者及び要約筆記者の養成及び派遣業務 ・ 情報機器の貸出業務 ・ 聴覚障がい者の相談受付業務 ・ その他の業務 	

2 利用状況を把握するための指標

指標	利用者数 (単位:人)
H25	5,740
H26	5,386
H27	4,972

3 平成27年度の収支状況

(単位:千円)

収 入 計	29,864
利用料金(制度導入なし)	0
指定管理料	29,864
そ の 他	0
支 出 計	29,864
人 件 費	17,842
施設管理費	3,652
そ の 他	8,370
差 引	0
納 付 金	—

4 前年度の評価員会議の主な意見及び対応

前年度の評価員会議の主な意見	対応状況
・ 県事業の取組みだけでなく、県内市町村、大学、民間なども含めた情報集約や各種調整など、聴覚障がい者を支援するための県の中核的拠点としての役割を果たすよう努めること	・ 手話等普及啓発のためのアウトリーチ事業において、5市町村1公共施設において、聴覚障がいの基礎知識、対応の仕方等を説明した。
・ 利用者増加に向けた周知・広報活動に努めること	・ 情報誌を四半期ごとに作成し、県内市町村等に配布した。 ・ メール配信、LINE、Facebookを用いて情報発信した。 ・ 岐阜聾学校文化祭や、耳の日フェスティバルにおいてPRブースを設置した。

5 評価員会議による評価結果

評価項目	評価点 (平均点)	評価員の主な意見
管理基準の充足状況	3.4	<ul style="list-style-type: none"> 十分な体制で適正に管理している。 意見箱の設置、利用者へのアンケートだけでなく、情報誌の配布先等へも意見を求めるべき。
設置目的の充足状況	3.6	<ul style="list-style-type: none"> 利用者数は減少傾向にあるが、障がい者(当事者)の利用者数は微減に留まっており評価できる。 利用者の満足度は良い評価が大半である。 企業、県民など一般の利用も促進すべき。
公共性の確保の状況	2.8	<ul style="list-style-type: none"> 市町村等からの依頼に、誠意をもって対応している。 手話通訳、要約筆記の人材が手薄な市町村と連携した養成事業を行ってはどうか。 広報誌については、聴覚障害者協会会員以外への周知・案内に努めてほしい。
収支状況	4.0	<ul style="list-style-type: none"> 予算に基づき適正に事業を執行している。 経費の節減に努めている。
派生的効果	3.6	<ul style="list-style-type: none"> 少しずつではあるが、手話等の普及に貢献している。 一般向けの手話・要約筆記体験教室や、聴覚障がい者向けの各種生活講座を開催している。 手話通訳後、通訳を受けた障がい者が理解できているか確認するよう、養成講座等で指導して欲しい。
運営業務の達成状況	3.6	<ul style="list-style-type: none"> 計画どおりに運営しており、計画以上に工夫した取り組みも見られる。 手話通訳者等の養成、研修を計画どおりに実施しており、県民が体験参加する事業も実施している。 相談業務は、窓口のほかメールやFAXによる相談も増えるとよい。 差別解消法等により、障がいに関する関心が高まっている時期でもあるので、センターも一層の情報発信に努めてほしい。

<評価基準>

5	定書等に定める水準を上回る管理運営がなされており、かつ特筆すべき実績・成果を上げている
4	協定書等に定める水準を上回る管理運営がなされている
3	協定書等に基づき、適切な管理運営がなされている
2	協定書等に基づき、概ね適切な管理運営がなされているが、一部に更なる工夫や改善を要する
1	改善を要する

6 県による評価結果

最終評価	評価の考え方
A	<ul style="list-style-type: none"> 業務は計画どおりに実施しており、経費節減にも努めている。また、一般向けの体験教室を実施し、障がいや手話等に関する理解啓発にも取り組んでいる。 利用者数は前年比で減少したが、障がい者の利用者数は横ばいであり、利用者の満足度も高い。 特に今後は、手話通訳者・要約筆記者の手薄な市町村との連携による効果的な人材養成の実施、来所が困難な遠隔地に暮らす聴覚障がい者へのサービス提供の強化、中途失聴者への支援強化、聴覚障がいの新規利用者の確保等により、一層のサービス向上に取り組む必要がある。

<評価基準>

S	優れた管理運営がなされており、かつ十分な実績・成果を上げている
A	優れた管理運営がなされている
B	適正な管理運営がなされている
C	改善を要する